

3. 臨床検査係

臨床検査係が平成3年度に実施した試験検査業務は腸内細菌検査、赤痢アメーバ等の原虫検査、梅毒血清反応、結核菌検査及び保健所外来検査（出向）である。試験検査業務と検査件数を表1に示した。

以下事項別に述べる。

1) 腸内細菌検査

腸内細菌検査は、40,168件で内訳は、健康診断等の一般依頼3,021件、食品取扱い従事者を対象にした勸奨検便36,908件、赤痢、チフス等の防疫検便239件、その他53件であった。（表2）

本年度は赤痢等下痢症の集団発生はみられなかった。

海外旅行者の増加にともない本年度は、防疫検便を実施した30事例中28事例までが海外旅行関連であり、旅行先ではインド、インドネシア・タイ、バンコク等の東南アジア方面で22事例をしめ、中でもインドネシア（バリ島）関連が昨年に引き続き多かった。

そのほかでは韓国・中国方面が5事例、オーストラリア方面が1事例である。

検出菌としては赤痢、毒素原性大腸菌、サルモネラ等の各種細菌が検出された。（資料参照）

届出のあったチフス菌3株のファージ型別を依頼した結果はM1型が1株、46型が1株、E2型が1株であった。

本年度はバラチフスAの市内発生はなかった。

2) 赤痢アメーバ検査

赤痢アメーバ症は年々増加しており本年度4事例の届出があり、22名の接触者検便を行った。

赤痢アメーバ症には肝潰瘍をともなう重症な事例が多く、本年度は1事例が肝アメーバで残り3事例が腸アメーバであった。

なお、接触者から赤痢アメーバは検出されなかった。

表2. 腸内細菌検査件数

区分	計	東	博多	中央	南	西	城南	早良
総計	40,168	7,138	6,648	4,351	7,474	5,682	3,275	5,400
依頼	小計	39,929	7,082	6,628	4,340	7,641	5,613	5,343
	一般	3,021	320	165	875	1,133	326	87
	勸奨	36,908	6,762	6,463	3,465	6,328	5,287	5,228
行政	小計	239	56	20	11	13	69	13
	コレラ	16	5	1	0	5	1	4
	チフス	21	14	0	0	1	0	0
	赤痢	146	25	7	11	5	68	8
	経過者	29	12	6	0	1		0
	海外旅行者	15		6	0	1		1
	その他 (再掲)	12 (89)						
		(26)	(13)	(11)	(7)	(2)	(6)	(24)

表1. 検査件数総括表

区分	計	保健所		
		依頼	行政	
計	67,366	66,899	467	
小計	45,718	45,251	467	
細菌	腸内細菌	40,168	39,929	239
	その他の細菌	53		53
	結核菌	53		53
	原虫(赤痢アメーバ)	22		22
	梅毒血清反応	779	679	100
	飲料水細菌検査	4,643	4,643	
小計	21,648	21,648	0	
保健所	一般検査	18,915	18,915	0
	尿沈渣	1,599	1,599	0
	細菌塗抹	1	1	0
	寄生虫	95	95	0
検査	便潜血反応	1	1	0
	血球計算	316	316	0
	血色素	436	436	0
	全血比重	4	4	0
	A B O式血液型	222	222	0
液	R H式血液型	60	60	0

3) 梅毒検査

梅毒血清反応は779件の検査を実施した。その内訳は一般依頼679件、行政依頼は婚姻89件、医療扶助7件、妊婦4件であった。（表3）

検査法はTPHA法、ガラス板法、及び凝集法を同時に実施し、必要に応じてFTA-Abs法を実施した。

陽性は計12件（1.5%）で3法とも陽性は6件（0.8%）、TPHA法のみ陽性1件（0.1%）であった。

また年齢別では陽性者は高年齢層に多く、陽性件数12件中8件は60歳以上であった。(表4)

また、陽性者数は年々減少の傾向が見られる。

表3. 梅毒血清反応件数

区 分	ガラス板法	凝集法	TPHA法	FTA-ABS
計	779	779	779	4
一般依頼	679	679	679	3
行 婚 姻	89	89	89	
妊 婦	4	4	4	
政 医療扶助	7	7	7	1

4) 結核菌検査

7保健所より依頼のあった53件につき結核菌検査を実施した。塗抹検査ではすべて陰性であったが、培養検査で人型結核菌を1名より検出した。また各種非定型抗酸菌10株を分離した。(表5)

5) 飲料水の細菌検査

飲料水の検査は、井戸水2,964件、浄水1,619件、その他60件であり(表6)、井戸水の依頼検査では一般家庭とボーリング業者からの依頼及び下水工事のための事前調査等の依頼で浄水の依頼検査は主として「建築物における衛生の確保に関する法律」に基づくものである。

6) 保健所外来検査

7保健所へ一般健康診断と成人健康診断のために出向した。出向は各保健所とも1週間に2日午前中に1名で当たる。件数は21,649件であった。表7に各保健所での検査件数を示す。

表4. 梅毒血清反応陽性例(+ : 陽性)

No.	性・年齢	ガラス板	凝集	TPHA	No.	性・年齢	ガラス板	凝集	TPHA
1	F 20	+	+	-	7	F 82	+	-	+
2	M 39	+	+	+	8	M 68	+	+	+
3	M 83	+	+	+	9	M 53	-	-	+
4	F 78	±	-	+	10	F 92	+	+	+
5	M 71	+	+	+	11	F 77	+	+	+
6	M 38	+	-	-	12	F 82	-	+	+

表5. 結核菌検査件数

区 分	計	東	博多	中央	南	西	城南	早良
検査件数	53	4	10	11	3	15	0	10
塗抹陽性	0	0	0	0	0	0	0	0
培養								
人型結核菌	1	1						
非定型抗酸菌	10	2	4	1		2		1

表6. 飲料水細菌検査件数

区分	計	井戸水	浄水	その他
保健所				
計	4,643	2,964	1,619	60
東	506	322	175	9
博多	440	308	125	7
中央	770	115	625	30
南	1,039	743	296	0
西	662	566	91	5
城南	460	373	80	7
早良	766	537	227	2

表7. 保健所外来検査件数

区 分	計	東	博多	中央	南	西	城南	早良	
計	21,649	3,799	2,717	3,104	4,059	2,939	2,913	2,118	
尿	一般検査	(成人) 11,152	1,531	1,659	1,504	2,192	1,556	1,981	730
		18,915							
		(一般) 7,763	1,716	802	1,175	1,488	922	563	1,097
		1,402							
沈 渣	(成人)	1,462	338	170	173	86	301	265	129
	(一般)	137	63	4	24	16	13	6	11
細菌塗抹	1	1							
便	寄生虫	95	11	22	11	17	6	3	25
	潜血反応	1			1				
血	血球計算	316	32	7	92	68	45	36	36
	血色素	436	41	28	108	111	54	36	58
	全血比重	4			2	1	1		
液	A B O式血液型	222	49	22	13	64	30	15	29
	R H式血液型	60	17	3	2	16	11	8	3